

種苗管理センター西日本農場

笠岡湾干拓地の平成町には、植物の種の保存や、新しい品種の栽培試験を行う、種苗管理センター西日本農場があることを皆さんはご存じでしょうか。

この農場で取り組まれている調査・研究は、普段は見る機会が少なく、車窓越しに気にしていた人も多いのでは？

今月はこの種苗管理センターで行われている、優良種苗の生産や流通のための取り組みと、今月実施される一般公開についてご紹介します。

いつから笠岡で業務を始めたのかな
どんな業務をしているのかな？

種苗は農業生産にとって最も基礎的かつ重要な資材であり、健全な農業の発展のためには、優良な種苗の生産・流通が不可欠です。種苗管理センターは、このように農業生産にとつて不可欠な種苗に関する行政を総合的に実施する機関として、昭和61年にそれまでの重要な畑作物の原原種等を生産する馬鈴しょ、原原種農場、茶原種農場、さとうきび原原種農場及び種苗検査、栽培試験を行う種苗課分室を再編統合して設立されました。

平成13年4月からは中央省庁等改革の一環として特定独立行政法人種苗管理センターに移行し、本所（つくば市）のほか、全国に12農場1分場1分室が設置され、西日本農場は、平成15年に現在地の笠岡湾干拓地内に移転し、新たなスタートを切りました。

現在は27人のスタッフでいちごなどの果物や、野菜花卉などの栽培試験、品種保護、種苗検査、遺伝試験及び調査研究業務を実施されています。

- 栽培試験
 - ①出願品種の栽培試験
平成17年度は21種類の栽培試験を実施しました。
 - ②個別マニュアル作成
大豆のイソフラボン含量についての特殊検定マニュアルや、きくの栽培・特性調査マニュアルなどを作成しています。
 - ③登録審査用品種の保存
栄養繁殖性植物種苗として、カーネーション、きく、つつじ、つばきなどの保存を行っています。
- 品種保護対策
平成17年4月から品種保護対策官（通称品種保護Gメン）を配置し、育成者権の侵害に対する相談窓口を設け、育成者の依頼に応じて侵害品種か否かの比較を行う試験（比較栽培）を行っています。
- 種苗検査
種苗業者を対象に、表示や品種純度・病害検査を実施しています。
- 植物遺伝資源の保存・増殖
栄養体植物遺伝資源の保存を行っています。
- 調査研究

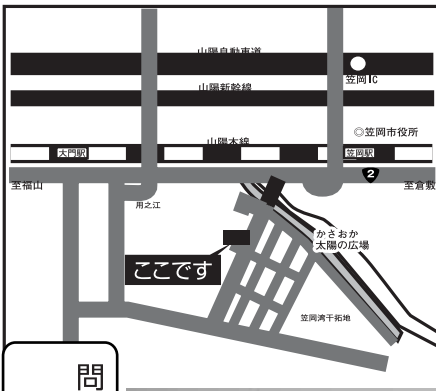
一般公開のお知らせ

市民の皆さんに研究や試験栽培の取り組みなどをご覧いただくため、次のとおり一般公開が行われます。

とき：5月27日（土）
10時～15時

テーマ：「種苗管理センターは優良種苗の生産・流通をサポートしています」

- ◆業務内容紹介
- ◆植物の展示
- ◆種子当てクイズ
- ◆試食コーナー
- ◆体験コーナー
- ◆植物の苗プレゼント



問い合わせ

種苗管理センター西日本農場

☎696644

